

(様式第1号)

## エネルギー供給温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社グリーンサークル				
代表者名	氏名	宮澤 政徳	役職名	代表取締役	
主たる事務所の所在地	〒381-0074 長野県長野市中曾根2188-5				
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則第15条第2項に該当する小売電気事業者			
	<input type="checkbox"/>	その他の事業者			
主たる事業の概要	1. 長野県北信地域の需要家様を対象として、バイオマス発電を中心とした電気の小売供給を平成28年度4月より実施しております。				
電力供給量(総量)	5,573	千kWh	電力供給量(長野県)	5,573	千kWh

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	2017	年度	～	2019	年度	報告対象年度	2018	年度
------	------	----	---	------	----	--------	------	----

### 3 公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	<a href="http://www.mwwi.co.jp/gc">http://www.mwwi.co.jp/gc</a>
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧 (閲覧場所・時間等)	
<input type="checkbox"/>	その他	

(様式第1号)

#### 4 エネルギーの供給に係る地球温暖化対策のための基本方針

・当社が加入している長野森林資源利用事業協同組合が保有しているバイオマス発電所から電気の調達を行っております。

#### 5 エネルギー供給温暖化対策計画の推進に係る体制

・燃料となる木材は主に長野県北信地域の森林から伐採される未利用木材を使用しており、森林の公益的機能増進に努めております。

(様式第1号)

6 供給するエネルギーの製造等に伴い排出される二酸化炭素の抑制に関する目標等

基準年度	実排出係数	0.000023	t-CO2/kWh
2016年度	調整後排出係数	0.000547	t-CO2/kWh
目標年度	目標排出係数	0.000020	t-CO2/kWh
2019年度	目標削減率	13.00	%
目標設定に関する説明	再生可能エネルギー発電設備からの発電電力を積極的に調達し目標達成を図ります。		
第一年度	実排出係数	0.000020	t-CO2/kWh
	調整後排出係数	0.000540	t-CO2/kWh
2017年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量	0	千t-CO2
排出係数等の増減理由	全国平均係数が減少したため、当社の調整後排出係数も減少しました。		
第二年度	実排出係数	0.000023	t-CO2/kWh
	調整後排出係数	0.000539	t-CO2/kWh
2018年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量	0	千t-CO2
排出係数等の増減理由	ほぼ増減なし。		
第三年度	実排出係数		t-CO2/kWh
	調整後排出係数		t-CO2/kWh
2019年度	エネルギーの製造等に伴い排出されたCO2量		千t-CO2
排出係数等の増減理由			

(様式第1号)

7 上記6の目標を達成するための措置

バイオマス発電所からの電源調達を進めます。

8 調達する電気の電源構成に関する見通しと実績

区分		調達する電気の電源構成の割合 (W・h比)					
基準年度	石炭火力	0 %	原子力	0 %	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	0 %	
	LNG火力	0 %	水力	0 %	卸電力取引所 <sup>※3</sup>	0 %	
2016	年度	石油火力	0 %	FIT電気 <sup>※2</sup>	95 %	その他 ( インバランス )	5 %
最終年度 における 見通し <sup>※1</sup>	石炭火力	0 %	原子力	0 %	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	0 %	
	LNG火力	0 %	水力	0 %	卸電力取引所 <sup>※3</sup>	0 %	
2019	年度	石油火力	0 %	FIT電気 <sup>※2</sup>	90 %	その他 ( インバランス )	5 %
第一年度	石炭火力	%	原子力	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	%	
	LNG火力	%	水力	%	卸電力取引所 <sup>※3</sup>	%	
2017	年度	石油火力	%	FIT電気 <sup>※2</sup>	95 %	その他 ( インバランス )	5 %
第二年度	石炭火力	%	原子力	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	%	
	LNG火力	%	水力	%	卸電力取引所 <sup>※3</sup>	%	
2018	年度	石油火力	%	FIT電気 <sup>※2</sup>	95 %	その他 ( インバランス )	5 %
第三年度	石炭火力	%	原子力	%	再生可能エネルギー源 (水力及びFIT電気を除く)	%	
	LNG火力	%	水力	%	卸電力取引所 <sup>※3</sup>	%	
2019	年度	石油火力	%	FIT電気 <sup>※2</sup>	%	その他 ( )	%
備考							

※1 「最終年度における見通し」欄には、基準年度時点における事業者の電気の調達計画等の見通しに基づき、特定期間の最終年度を算定期間とする電源構成の概算の見込み割合を記載する。

※2 「FIT電気」とは、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく認定施設から買い取られた電気で、その調達費用の一部が全電気利用者が負担する賦課金により賄われている電気を指す。

※3 「卸電力取引所」とは、電力の卸取引を行う取引所であって、電気事業法第97条第1項に規定される指定を受けた卸電力取引所を指す。

(様式第1号)

9の1 再生可能エネルギー源により発電された電気の調達量に関する見通しと実績

区分	調達量				再生可能エネルギー源の種類 (内訳)				
					電源	種類別調達量			
	県内分		再生可能エネルギー 電気 (FIT電気を除く)	FIT電気					
基準年度	5,368	千kWh	5,368	千kWh	太陽光	0	千kWh	0	千kWh
					風力	0	千kWh	0	千kWh
					水力	0	千kWh	0	千kWh
					バイオマス	0	千kWh	5,368	千kWh
					その他 ( )	0	千kWh	0	千kWh
2016年度									
最終年度 における 見通し	6,000	千kWh	6,000	千kWh	太陽光	0	千kWh	0	千kWh
					風力	0	千kWh	0	千kWh
					水力	0	千kWh	0	千kWh
					バイオマス	0	千kWh	6,000	千kWh
					その他 ( )	0	千kWh	0	千kWh
2019年度									
第一年度	6,162	千kWh	6,162	千kWh	太陽光	0	千kWh	0	千kWh
					風力	0	千kWh	0	千kWh
					水力	0	千kWh	0	千kWh
					バイオマス	0	千kWh	6,162	千kWh
					その他 ( )	0	千kWh	0	千kWh
2017年度									
第二年度	5,798	千kWh	5,798	千kWh	太陽光	0	千kWh	0	千kWh
					風力	0	千kWh	0	千kWh
					水力	0	千kWh	0	千kWh
					バイオマス	0	千kWh	5,798	千kWh
					その他 ( )	0	千kWh	0	千kWh
2018年度									
第三年度		千kWh		千kWh	太陽光		千kWh		千kWh
					風力		千kWh		千kWh
					水力		千kWh		千kWh
					バイオマス		千kWh		千kWh
					その他 ( )		千kWh		千kWh
2019年度									
備考									

(様式第1号)

## 9の2 再生可能エネルギーの普及・供給拡大に関する取組

・バイオマス発電所の視察を随時受け付けており、他事業者のバイオマス発電所の建設に協力しております。

## 10 エネルギーの供給に係る温室効果ガス排出抑制の研究と取組

・発電時に発生する排熱をペレットの乾燥設備に送風することにより、未利用エネルギーの活用に取り組んでおります。

## 11 需要家の省エネルギー対策の推進に関する取組

区分	実施内容
高効率機器の普及促進	
家庭・事業者の省エネルギー対策への協力	・需要家に対して省エネルギーに関する相談窓口を設けております。
その他	

※ 需要家に対して節電や省エネを誘導する料金体系を導入している場合は、「その他」に記載する。

(様式第1号)

12の1 地域との連携に関する取組の実施状況

基準年度までに実施した内容	・情報公開を積極的に行うことにより、発電所への理解や再生エネルギーへ興味を持っていただく取り組みを行っております。
第一年度実績	・今年度は約450名の視察、見学者の受け入れを行いました。
第二年度実績	・今年度は約270名の視察、見学者の受け入れを行いました。
第三年度実績	

12の2 その他、温暖化対策に関する取組の実施状況

区分	実施内容
基準年度までに実施した対策	・燃料用木材の収集において、高年式重機車両を積極的に導入することにより、使用燃料の削減に努めております。
第一年度実績	高年式重機車両の導入を行い、生産効率の向上、使用燃料の削減を達成しました。
第二年度実績	高年式重機車両の導入を行い、生産効率の向上、使用燃料の削減を達成しました。
第三年度実績	

(様式第1号)

1.3 自由記載欄

A large rectangular area filled with a light blue color, representing a free text field. The area is bounded by a thin black border and occupies most of the page below the header.